

信託法案外十一件特別委員會議事速記録第二號

大正十一年三月十七日(金曜日)午後一時十八分開會

○委員長(兒玉秀雄君) ソレデハ開會致シマス、前同ニ政府委員ノ大體ニ亘リマシテ説明ガ終リマシタカラ、今日ハ各員カラノ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、安田君カラ御通告ガゴザイマシタカラ

○安田善三郎君 私ノ質問致シタイト思ヒマス、コトハ信託法案デモ信託業法案デモ、何トシテモ同ジコトナンデアリマスルガ、此信託ト云フコトハ極ク新シイ事柄デアリマシテ、又其言葉モ一般ノ世人ハ勿論ノコト、斯様ナ事柄ニ近イ關係ヲ持ッテ居リマス人ノ間デモ、マダ確然トシテ解釋ヲ下ダシテ居ラス位ナ事柄デアリマスカラ、勿論政府ニ於カセラレマシテモ、今回ノ法案ガ提出セラレルニ當ルマシテハ餘程能ク御調査御研究ニナリマシタコト存ジ上ゲマスルガ、大分世間ト云フ程デモナイカ知リマセヌガ、信託業者現在ノ信託會社ノ中デハ餘程此法案ノ發布ニ對シテ苦慮シテ居リマスヤウニ聞及ンデ居リマス、勿論私一個トシテ何等直接間接ニ信託業ニ關係有テマセヌデゴザイマスガ、兎ニ角社會ニ銀行ト云フモノガ餘程重大ナ責務ヲ持ッテ同ジニ、信託ト云フモノモ非常ニ重要ナル使命ヲ持ッテ居リマスモノデ、見方ニ依リマスレバ、銀行ヨリ、重イト云フコトモ見ラレ得ルノデアリマス、ソレデ昨日黒田君ノ説明ニ依リマス、現在信託業者ハ五百幾ツモアルト云フコトデアリマスガ、是等ノ中ニ、私ノ聞及ンデ居リマス所ニ依リマスルト、其經營ニ付テ甚ダ如何ハシイモノモ多クアリマスヤウデアリマス、從ッテ其内容ヲ細カニ調べテ見マスルト、甚ダ怪シカラス情態ノモノモ多クアラウト存ジマス、斯カル者ニ對シテハ固ヨリ嚴正ニ其弊害ヲ除却シ、過ナカラシメンヤウニスルニハ、是ガ當然ノコトデアリマス、ガ今日ノ此日本ノ經濟組織、經濟狀態ニ於キマシテハ極ク眞面目ナル、真正ナル信託業ト云フモノノ發達ト云フコトハ、一日モ速ニ實現シタイト存ズルノデアリマス、現在アリマス信託會社ト云フモノモ創立以來誠ニ僅カナ、何年デアリマスカ能クハ存ジマセヌガ、蓋シ六七位ノモノデアアラウト存ジマス、マダ信託業ト云フモノニ向ッテ左程經驗ニ乏シイ、所謂創立ノ時代デアリマスカラ、從テ誤モ多クアラウト存ジマス、殊ニ況ヤ恰モ經濟界ノ大激變ト云フモノニ際會致シマシタカラ、相當多年ノ經驗ヲ持ッテ居リマス銀行業者間ニモ、随分如何シイ失態モ多クアルコトデアリマスカラ、況ンヤマダ幼稚ナル信託業者ニハ無論左様ナル失態モ免レヌ

コトデアアラウト存ジマス、ソレデ惡意ト言ヒマスルト、少シ言ヒ過ギマスルガ、甚ダシイ放漫ナヤリ方カラ來マスルモノハ、是ハ已ムヲ得マセヌケレドモ、サモナイ者デアリマスルト、何トカ之ヲ能ク矯正シテ完全ニ發達ヲセシメタイモノト存ジマス、此本案ハ無論保護トカ、發達ヲ助成スルコトニ於キマシテハ十分ナ御注意ヲ拂ハレマシタコトデアアラウトハ存ジマスケレドモ、聞ク所ニ依リマス、當業者ハ苦情ヲ言フテ居ルヤウデアリマス、實ハ昨晚モ衆議院ノ特別委員會ノ筆記ヲ見マスルト、黒田政府委員ヨリモ當業者ノ所謂希望ノ一端、之ニ對スル數ノ見ラレル所ノ一端ヲ御話ニナツタヤウニ見受ケマスデゴザイマスガ、ドウカ其二點ニ付テ御面會ナガラ當業者ガ何ヲ希望シテ居ルカ、其希望シテ中ニ何處何處マデ政府ハ御取用中ニナツテ、何處何處ハ御取用中ニナラヌカ、其理由事情等ヲ承リマスコトガ出來マス、大變本案ヲ審議シマス上ニ於テ仕合セト存ジマスガ要ハ唯弊害ヲ除却スルコトモ勿論必要デゴザイマスガ、同時ニ現在ノ兎ニ角芽生ヘナガラ生レツツアリマス此信託會社ヲドウカ十分ニ保護シ、之ヲ發達セシメタイト云フ考カラ出マスノデ、想フニ政府モ無論其考デアラウト存ジマスガ、能ク兩者ノ間ニ、公式ナリ非公式ニ、直接ナリ間接ナリデ、御意見ノ交換ガアツタトシマスレバ、其端ヲ御説明ヲ願ヒマスルト幸ト存ジマス、衆議院ノ速記録ヲ拜見シマス所デハ、マダ十分自分ノ疑モ解ケマセヌ、此點ヲ御面會ナガラ願ヒタイト思ヒマス、自分ノ希望致シマス所ハ法律的關係モ含マレマスケレド、主トシテ經濟的關係ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、固ヨリ兩者密接ノ關係ヲ持ッテ居リマスカラ、何レノ偏スルト云フ譯デアリマセヌ、其邊ヲ御含ニナツテ説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○委員長(伯兒玉秀雄君) 只今ノ質問ハ主トシテ信託業ノ方ニ屬シマスガ、安田君ハ何處カヘ行カレルサウデアリマスカラ、此說明ヲ政府委員ニ先キニ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田眞二郎君) 只今ノ御質問ノ趣旨ハ主トシテ信託業法ニ關係ヲ持ッテ居ラレル様ニ拜聴致シマシタガ、又一面信託法ノ立場カラ、一應御説明ヲ申上ゲルコトノ御意味モ含マレテ居ルコト承リマスニ依ッテ、信託法ノ見地ヨリ只今御質問ニ對シテ御答ヲ致シテ置カウト思ヒマス、只今仰セニナリマシタ通りニ、信託業ノ發達、マダ經驗淺イノデアリマスルケレドモ、有要ナル社會上ノ機關、益々之ヲ健全ニ導イテ參ルト云フコトハ、勿論大切ナコトデ、ソレニ

付キマシテ信託法ノ立場ヨリ申上ゲタイコトハ、其信託業ノ發達ト云フモノヲ健全ニ導クト云フ爲ニ、其信託ト云フモノガ果シテ如何ナルモノデアアルカト云フコトヲ、明確ニ致シテ置ク必要ガ大イニアルノデアリマス、前同ニモ申上ゲタイコトニ、信託會社ト一口ニ申シマスケレドモ、其營ミマスル事業ト云フモノハ、嚴格ノ意味ニ於ケル所ノ所謂信託ノ事務ト竝ニ附隨スル所ノ幾多ノ事務ト云フモノヲ合セテ營ンデ居ル次第デアリマスガ、苟モ信託會社ト申シマスル以上ハ、是ハ黒田銀行局長ノ申上ゲマシタ通りニ、信託事務ト云フモノガ其精神ニナルノデアリマス、ト云フコトハ論ヲ俟タヌ所デアリマス、所ガ其信託ト云フモノハ普通ノ民法、商法等ニ於テ是マデ取扱フテ來テ居リマシタ法律關係トハ一點異ナリマシタ關係ヲ有テ居ルモノデアリマス、之ニ付キマシテハ特ニ其關係ヲ明確ニ致シマスル爲ニ、實體ノ法規ヲ設クル必要ガ大イニアル、ソレデ以テ一面ニ於キマシテハ、所謂信託會社、信託事業ノ中樞ニナリマス所ノ信託ト云フモノノ本體ガ明カニナツテ參ル次第デアリマス、信託ナルモノニ付テノ世人ノ考ト云フモノハ、段々ソレデ以テ導カレルコトト考ヘルノデアリマス、又一面ニ於キマシテ此信託事務ノ中心トナリマスル所ノ、所謂信託ト云フモノノ法律關係ガ如何ニモ不明確デアル、當事者ノ保護ト云フモノガ如何ニモ十分デナイト云フコトデアリマシテハ、ドウシテモ其發達ヲ期スルト云フコトハ出來ナイ譯デアリマス、デアリマスルカラ此信託ノ法律關係ト云フモノヲ司法上カラ見マシテ、之ヲ明瞭ニ致シ、サウシテ其當事者ノ利益ト云フモノ竝ニ權利關係ヲ適當ニ之ヲ保護スル、其關係ヲ明確ニスルト云フコトデ以テ、此信託ト云フモノガ圓滑ニ行ハレルト云フコトニ致ス必要ガ大イニアル譯デアリマシテ、信託法制定ノ一ツノ理由ハ其處ニアルノデアリマス、是ガ今ノ御質問ノ御趣旨ニ對シマシテ信託法ノ見地ヨリ御答ヘ致シマスル要點デゴザイマス

○政府委員(黒田英雄君) 此信託業法ノ關係ニ於キマシテ只今ノ御質問ニ對シマシテ御答ヘラ致シタイト考ヘルノデアリマスガ、只今御質問ニモアリマシタ通り、今日アリマスル所ノ所謂信託業者間ニ於キマシテ、色々ノ之ニ對シテ苦情ガアルト云フコトヲ聞イテ居ルト云フ御話ガアツタノデアリマス、此點ニ付マシテハ後ニ少シク此處ノ簡條ニ付マシテ簡單ニ申上ゲル積リデアリマスルガ、先ツ第一ニ大體ノ考ニ於テ當業者ノ或ル部分ト、今度ノ法案ノ立案ノ趣旨

トガ違フ居ルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ從來屢々當業者カラ陳情モアリマス、又大正八年以來各地ニ大藏省ノ官吏ヲ出シマシテ、當業者ニ付テ色々實際ノ狀況ヲ調査シ、勿論監督權ヲ有テ居リマセヌカラ檢査デアリマセヌガ、好意ヲ有テ色々話ヲシテ貰ヒ、意見モ其都度聞イテ居リマシタ、又昨晩丁度東京ノ信託會社ノ二十數名ノ方、ガ御集リニナツテ、私ニ參ッテ法案ニ付テ色々説明シテ貰ヒタイト云フ御話ガアリマシタノデ、參リマシタノデアリマスルガ、其際モ私ハ其點ニ付テドウモ皆様ノ考ト政府ノ立案ノ趣旨トガ、根本ニ於テ違フ居ルヤウニ思フコト云フ事ヲ御話シマシタガ、皆サウ云フ風ニ感ジラレテ居ル事ヲ確メタノデアリマスガ、所ガ此案ニ於キマシテハ、先程池田政府委員カラ御説明申上ゲマシタ様ニ、信託ヲ業トスル、即チ今度制定サレマシタ如キ、此信託法ニ依テ信託ノ觀念ガ定ッテ、ソレヲ營業トスルモノヲ信託會社トスルト云フ趣旨デ出來テ居ルノデアリマス、即チ今日ニ於キマシテハ信託會社ト申シマスコト云フ、此法案ガ制定サレマシタ以後ニ於テハ、信託ト申スコトハ出來ナイ所ヲ仕事ヲ 澤山ヤッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ仕事ヲ包括シテ、總テ之ヲ信託ノ業務デアルト云フ風ニ、觀念ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ今後此法律ガ制定サレマシタ後ニ於キマシテハ、信託會社ト云フ者ハ、即チ信託法ニ因ッテ言フ所ノ其信託ヲ營業トスルト云フ事ヲ本體トシテ、恰モ貯蓄銀行ガ零碎ナ豫金ヲ扱フ事ヲ本質トシ、銀行ハ貸付ケラ、致ス事ヲ本業トスト云フヤウニ、信託會社ハ此信託法ニ因ッテ言フ、即チ信託ノ引受ケヲ營業トスルト云フ事ヲ本質トスル、サウシテ信託會社ニ限ッテ其コトガ出來テ、其他ノモノハ營業トシテ信託ノ引受ケガ出來ナイト云フコトヲスルコトヲ以テ、此業法ハ立案サレテ居ルノデアリマス、然ルニ色々當業者ノ中デ抱カレテ居ル所ノ意見ハ、サウデナクシテ、今日營ンデ居ル所ノ色々業務、サウ云フ業務ヲ營ムモノヲ以テ信託會社トスル、即チ之ヲ廣イ意味ノ信託ト申シマスレバ……假ニ茲ニ信託業法ニ言フ、狭イ意味ノ信託ト致シマスレバ、廣イ意味ノ信託ノ業務ヲ營ムコトヲ以テ、其會社ノ本體トスルト云フコトニシタイト、ト云フ考デ居ラレヤウデアリマス、其點ニ於テ根本ニ違ヒガアルノデゴザイマス、政府デ立案ヲイタシマシタヤウニ、信託ヲ業トスルコトヲ營業トスル會社ト致シマスコト云フ、即チ他人ノ信託ニ基イテ、他人ノ財産權ヲ自分ノモノニ移シテ、他人ニ代ッテ管理スルト云フコトニナルノデアリマスルカラ、サウ云フコトヲ本質トスル營業者ニ付キマシテハ、ドウシテモ相當ナル監督ヲシテ行カケレバナラヌト云フコトハ、當然ナコトデアリマスルシ、又其會社ガ營ミマスル所ノ附隨ノ業務

ト云フモノヲ認メルト致シマシテモ、其附隨ノ業務ニ付キマシテハ、恰モ貯蓄銀行ニ於テ附隨ノ業務ヲ營ムコトヲ制限ヲ致シマスルト同ジヤウニ、之ノ制限ヲシテ、詰リ其本質ヲ破ルコトガナク、信託會社ニ期限ヲ及ボス虞ノナイヤウナ業務ニ限ッテ、之ヲ許スト云フコトノ制限ヲ設ケタ、是ハ或ハ多少ノ相違ヲ來スグラウト思フノデアリマス、前申ス通り、根本ニ於テ考ノ相違ガアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ先ヅ根本ノ違ヒデアリマスルガ、併シ實際ノ問題トナリマシテ、此業法ニ對シテ如何ナル譯デアアルカ意見ガアルノデアアルカト云フコトニナツテ來マスコト云フ、其結果ハ大シテ當業者ニ於テモ違フ希望ヲモナイト思ヒマスガ、先ヅソレノ極ク大要ヲ御話ヲ致シテ、尙ホ詳細ノコトハ御尋ネニ依ッテ御答イタシタイト思ヒマス、先ヅ初メニ此業法ヲ拵ヘマシタニ付キマシテ、今日ノ實際ノ現狀ヲ少シモ眼中ニ置カナカッタノデアリナイカト云フ風ノ御質問モアッタヤウデアリマシタガ、決シテ左様ナコトデアリナイノデアリマス、又當業者カラノ意見モ時々出テ居ルノデアリマス、大正八年ニ於テ此信託業法ノ案ヲ拵ヘマシタ際ニ、ソレガ世間ニ出マシテ一般ニ知ラレテ居タノデアリマス、ソレニ付テハ既ニ大正九年ノ二月信託協會カラシテ其案ニ基イテ、第一回ノ陳情書ガ出テ居ルノデアリマス、其後信託法並ニ信託業法ガ法制審議會ニ諮問サレマシテ、審議會ニ於テ審議ヲシテ居リマス際ニ、審議會ノ委員長ニ宛テ或ハ司法大臣、大藏大臣、或ハ内閣總理大臣ニ度々陳情書モ出テ居ルノデアリマス、今同ノ案ハ是等ノ法制審議會ニ於テ決議セナリマシタ事項ニ基キマシテ、立案ヲシタノデアリマスケレドモ、前ニ大正八年ニ、世ノ中ニ出テ居ル所ノ案ト比較シマスト、大體ニ於テソレヨリモ簡ニナツテ居ルノデアリマス、サウ大シタ違ヒハナイノデアリマス、寧ロ當業者ノ便利ニナルノデ、ソレ故ニ前ノ案ニ於テ色々ト研究ヲ當業者ガシマシテ陳情シタ所デ、決シテ政府ガ全ク當業者ニ置シテ立案ヲシタト云フヤウナ御非難ヲ受ケルコトハ、非常ニ遺憾トスル點デアリマス、左様ナ狀況ニナツテ居リマス、唯案ノ違ヒマス點ハ四條ノ引受ケベキ財産ノ制限シタコトデアリマス、此點ハ昨日精シク申上ゲタコトデアリマスガ、四條ノ制限ニ付テハ前ノ案ニハナカッタノデアリマスカラ、今度始メテ出タノデアリマス、之ニ對シテ當業者ノ一部カラ陳情サレテ居リマスモノハ、前ニ衆議院ノ案ニ動産ハナカッタノデアリマス、動産、不動産及ビ立木トアリマスガ、動産ハ衆議院ニ修正サレテ政府ハ同意シタノデアリマス、其當業者ノ希望ハ違シテ居ルノデアリマス、ソレカラ立木モ含ンデ居ルノデアリマス、初メカラ認メテ居ルノデアリマスカラ、是モ包含シテ居ルノデアリマス、ソレカラ地上權ハ認メ

テ居リマス、工業權、漁業權、工業所有權ト云フモノハ認メナイ意見デアリマス、是ハ昨日申上ゲマシタヤウニ、其事業ノ經營ヲ致ス爲ニ危險ノ虞ガアルト云フノデ認メナイノデ、是ハ信託、前申スヤウナ主義ヲ有テ居リマスカラ、是ハ當然ノ結果グラウト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ大體此希望ハ入レテ居ルノデアリマス、將來信託業ノ目的トシテ極メテ相應シイ、サウシテ發達ノ見込ガアリ、又經營上危險モナイト思フモノハ殆ド認メテ居リマス、即チ金錢、有價證券ト云フヤウナ風ノ者ガ將來發達スルモノデアラウト考ヘテ居リマス、此點ニ於テハ當業者ト雖モ、殆ド希望ガ充サレテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ當業者ノ意見ハ五條ノ附隨業務ノ中デアリマスガ、之ニ付テハ前申ス通り、本質ヲ信託ノ引受ケト云フ事ニ置キマシタ爲ニ、附隨業務ニ付テハ色々制限ヲ設ケタノデアリマスガ、大體信託ノ業務ヲ營ンデ居リマス爲ニ、大體ニ信任ヲ基トシテ……最モ適當ナモノデアリマス、左様ナ次第デ茲ニ列舉イタシタノデアリマス、其外ニ豫定拂ノ預リ金、是ハ銀行ト同ジヤウニ預金ヲ受ケル事ニナリマスカラ、是ハ認メナカッタノデアリマス、會計ノ檢査ナドハ法律デ極メル事ニ於テハ、更ニ考究セバ問題デアアルカモ知ラセメスケレドモ、今日ノ狀態ニ於テハ未ダ會計監査ト云フ様ナ事ニ付キマシテハ法制ガナイノデアリマス、獨リ信託會社ノミ法律ガ之ヲ認メマシテ、營業トシテ之ヲ認メマスルト云フコトハ、法律上ノ力ヲ與ヘルヤウナ誤解ヲ來シマス結果ニナルノデアリマスカラ、今日ノ法制上ニ是等ヲ考究スルコトヲ早メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、モウ一ツ保險ノ取扱ト云フヤウナモノモデアリマスガ、是ハ保險ノ取扱ヲシマスコトハ、保險ノ事業ヲ致スヤウニナリマスカラ、是等モ適當デナカラウト云フ考カラ省イテ居リマス、前申ス通り大體ニ於テ認メ得ルモノハ、認メテ居ル考ヘデアリマス、銀行業ノ經營ト云フコトモ希望ノ中ニアリマスガ、是ハ認メラレナイコトハ前回ニモ申上ゲタノデアリマス、サウ云フヤウナコトデアリマシテ、大體ニ於テ當業者ノ希望ハ十分ニ信託ニ付テ考究イタシマシタ後ニ、採用スベキモノハ採用シテ居ルノデアリマス、ソレカラ又當業者ト當局ト多少考ノ相違シテ居ル點ハ、當業者ニ於テハ今日ノ現狀ニ於テドウシテモ、斯ウ云フ信託業以外ニ色々ナモノヲ營マナケレバ經營シテ行ケナイト云フコトヲ、能ク聞クノデアリマス、ソレヲ色々ト意見ヲ交換シテ見マス、或ハ金錢ノ信託、或ハ有價證券ノ信託ト云フ風ナコトニナリマシテモ、斯ウ云フ信託ト云フコトハ今日ニ於テモナカク、ナイノデアリマス、將來ニ於テモ之ガ多キヲ期スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、我々ハ少シ違フ考ヲ持ッテ居ルノデア

リマシテ、今日ニ於キマシテハ未ダ信託ト云フモノ、觀念モ定マラズ、是等ニ關スル法律關係、權利義務ノ關係ト云フモノモ明カニナラズ居ラスノデアリマス、又今日ノ信託會社ノ情況デアリマシテハ、勿論立派ナモノモ多クアルデアリマセウガ、五百有餘ノ中ノ多數ノモノハ、先程安田サンノ御話ニナリマシヤウニ隨分如何ハシイモノモアルノデアリマス、今日世人ノ一般ニ懷イテ居リマス所ノ考ハ、信託會社ニ自分ノ資産ヲ擧ゲテ、之ヲ信託スルト云フダケノ信用ヲ持ッテ居ルト云フモノハ少カラウト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ一方ニハ法律ノ關係ガ定マラヌト云フノデアリマス、一ツハ今日ノ會社ニ隨分如何ハシイモノガ多イト云フヤウナ結果、良イ會社ガアリマシテモ、其良イ會社ニナカレテ行カヌト云フ風ナ結果ニナッテ居ルモノハナイカト考ヘテ居リマス、此點ハ此法律ガ制定ニナリマスレバ、信託ノ法律關係モ定マリ、又一方ニ會社ガ政府ノ監督ヲ受ケテ、サウシテ其會社ハ危險ナル仕事ヲシナイ、堅實ナル仕事ヲシテ行クヤウニナッテ來マスト云フト、自然是等ニ信託スルト云フ者モ隨分多クテ來ルダラウト思ヒマス、外國ノ例ヲ見マシテモ、英吉利ニ於キマシテモ、イツデアリマシタカ、財産ノ二十分ノ一ガ信託サレテ居ルト云フ風ナコトガ書イテアツタ本モアツタヤウデアリマス、今後經濟界ノコトガ複雑ニナッテ來、個人ニ於キマシテモ、自ら自分ノ財産ヲ管理スルト云フコトガ困難ニナルヤウニナリマスレバ、自然是等ノ信託ト云フモノガ、發達シテ來ルデアラウト考ヘテ居リマス、ソレデ今日ノ現狀ノミヲ以テ直ニ將來ヲ測定シテ判斷サレルト云フコトハ、如何デアラウカト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ此附隨業務トシテ相當營業ムベキ範圍ガ廣イノデ、是ニ依ッテ各種ノ營業ム、大體ニ於テ多數ノ主業デアリマス、本業ガ多數ノ主業デアリマスルカラ、大體多數ノ主業ノ附隨業務デアリマスル故ニ、是ニ依ッテ相當ノ成績ヲ擧ゲテ行ク資金ノ運用ニ付キマシテ、此ノ貯蓄銀行アタリカラ考ヘマシテ、是非非常ニ簡易ニイタシマシタ、大正八年ニ立案サレタモノカラ見ルト非常ニ簡易ニナッテ居リマス、殊ニ衆議院ニ於テ修正ガ二箇條導入マデ居ルノデ、是ニ依テ相當利益ヲ擧ゲテ行クコトガ出來ルト思ヒマス、ソレ故ニ此法律ニ依リマシテ決シテ將來經營ヲシテ行クコトガ困難ニナリ、不法ノモノデアルトハ決シテ考ヘテ居ラス、尙ホ將來ノコトハ後ニ御尋ニ應ジマシテ申上ゲテモ宜イノデアリマス、先ヅ大體申上ゲレバ左様ナ次第デアリマス

事實ノ錯誤ガアリマスル、ソレガ前提ニナッテ進ンデ參リマスト云フト、大變ニイロノナ問題ヲ研究サレヤウナコトニナラウト思ヒマスカラ、其事實ノ錯誤ダケハ茲ニ私ガ聲明シテ置クガ御便宜デアラウト思ヒマスル、ソコヲ申上ゲタイノデアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット安田サン、之ニ關係シタ御質問ガアリマスカ

○安田善三郎君 之ニ關係シテ居リマスガ、ソレデハ宜シウゴザイマス、御便宜上菅原サン御話ヲ伺ヒマシテ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデヤ菅原君ニ許シマスガ……

○菅原通敬君 大體ニ於テ營業者ノ希望スル所ヲ採用シテ居ルノデアアル、又大正八年ノ案ニ比ベテ見ルト大分寬ニナッテ居ル、ソレカラ營業者ト根本ニ於テ觀念ヲ異ニシテ居ルノダ、此三點ニ付テチヨット申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、營業者ノ方ヨリハ大正八年ノ案ニ對シテ今ノ黒田君ノ言ハレタ通り、九年ノ二月ニ陳情ヲシテ居ル、其陳情ニ對シテ取捨シテ、採用スベキモノヲ採用シテ居ルアルガ、而カモ今度ノ案ハ全ク其時ノ案ヨリハ餘程寬大ニナッテ居ルノデアアル、ソレヲ營業者ガ不満足デアルト云フコトハナイノデアアル、斯ウ云フヤウデアリマスルガ、是ガ大變事實ニ相違ガアルト思フノデアリマス、大正八年ノ案ニハ只今政府委員ノ言ハレタ通り、第四條ノ信託ノ制限ハ元ハナカッタ、何デモ出來ル管デアアル、ソレカラ銀行業ノ經營モ出來ル管デアアル、ソレカラ企業ノ調査デアアルトカ、設計デアアルトカ、或ハ會計ノ檢査デアアルト云フ様ナモノヲ入レテ居ル、ソレデ今度ノ案ニ、第一ニ固有ノ信託ニ對スル業務ノ制限ヲシタ、ソレカラ銀行業ノ兼營ト云フコトヲ認メナイ、ソレカラ企業ノ調査、設計ト云フモノガアツタガ、ソレガ無クナツタ、信用保證ト云フモノガアツタガ、ソレガ無クナツタト云フヤウナコトノ如キ、非常ニソレガ制限サレテ來テ居ル、ソレガ大體政府ノ案ニナッテ居ルモノデアアルトシテ、其下ニ於テ營業者ガ陳情ヲシテ居タノデアアル、今度ノ改正案ノ如キモ、ソレカラモノガ認メラルモノデアアラウト云フ前提ノ下ニ於テ、即チ其以上ニ於テ要求スル所ヲ要求シテ居ルノデアアリマスカラシテ、ソレハ大體大變違ッテ居ルノデアアリマス、ソレカラ營業者ト雖モ、固有ノ信託業務ヲ本體トスルコトノ觀念ハ、勿論變テ居リマセス、ソレヲ本體ニスルコトハ勿論デアアル、唯、本體ノ業務ヲ營業ト云フダケデハ、信託會社ノ業務ヲ專ラニスルコトガ出來ヌノデアリマス、ソレト同時ニ附隨業務ノ範圍ヲ擴ゲテ貰ヒタイト云フノデアアル、最初カラ附隨業務ガ本體デアルト云フヤウニ營業者トシテ考ヘテ居ル、飽マデモ固有ノ信託業務ヲ營業ト云フコトヲ本體

ニ置イテ、而シテ其附隨業務ナルモノガ……〔聴取リ難シ〕然ルニ固有ノ信託業務ニ於テ最初ニハ制限ガナカッタノニ、今回ノ案ニ於テ非常ニ制限サレテ居ルト云フノハソコカラ出テ居ル、而シテ固有ノ業務ノ方ニ於テモ營業者ノ希望ト云フモノハ、第四條ト云フモノヲ削ッテ、サウシテ前ノ案ノ如ク制限ノナイモノニシテ貰ヒタイ、併シソレガ出來ヌト云フコトデアアルナラバ已得ヌケレドモ、此處ニ掲ゲテアル或ル事項ヲ殖ヤシテ、其上ニ尙ホ主務大臣ノ許可ヲ受ケタナラバヤレルト云フト、是ガ大變深イ意味ヲ有ッテ居ル、主務大臣ノ許可ヲ受ケタル者ト云フノガ加ハッテ居ル、ソレガ出來ヌニ其他ノ者ダケニ於テ、サウシテ大體ノモノヲ認メテヤツタノデアアルカラト云フヤウナ、ソコハ大變御考ガ違ッテ居ル、其點ダケヲ……

○政府委員(黒田英雄君) 只今菅原サンノ御話ニナツタ事ニ對シテ、別ニ御議論ヲ申上ゲルコトハイタサナイノデアリマスルガ、只私ノ申述ベマシタ點ニ付テ事實ニ相違ガアリマスト云フコトデ、御尋下サル御趣意デアッタカラ、又事實ガ更ニ相違ガアリマシテハナラナイト思ヒマシテ、只其點ニ付テ菅原サンニモウ一遍御記憶ヲ喚起シタイト思フノデアリマス、ソレハ只今御話ノ大正八年ニ政府デ出來テ居リマシタ案ニハ、四條ノ制限ガ無クナツタハ私ガ先程申述ベタ通りデアリマスガ、是ハ私ノ説明ヲ御訂正下スツタノデモナリト了解イタシテ居リマス、唯附隨ノ業務トシテ營業中ニ會計ノ檢査、起業ノ調査設計ガアルノデアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ八年ノ案ニハ無カッタト思ヒマス、大正九年二月四日ニ大藏大臣ガ御提出ニナツタノデ、其七條末ニ左ノ二號ヲ加ヘテ(五)會計檢査(六)起業ノ調査設計、トシテ吳レト云フ希望ガ出テ居ル位デ、政府ノ案ニハ無カッタノデアリマス、ソレカラ銀行業ノ兼營ト云フ御話デアリマスガ、銀行業ノ兼營デ大正八年ニ、世間ニ出マシタ案ニハ無カッタノデアリマス、許シテ居ラナカッタノデアリマス、ソレ故ニ大正九年ノ二月ニ信託協會カラ出テ居ル陳情ニ、七條ノ次ニ、八條トシテ、信託業務ヲ行フモノハ銀行事業ヲ兼營スルコトヲ得ト云フヤウナ御希望ガ出テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、其次前ニ政府デ色ノ内議デアッテ研究ヲ致シマス際ニ、イロンナ議論ガアツタコトノ御記憶デナイカト考ヘマス、社會ニ出マシタノハ左様ニナッテ居ルノデアリマス、チヨット其點ダケヲ……後ノ點ニ付キマシテハ、是ハ議論ニナリマスカラ強テ申上ゲマセスガ、私ノ先程申述ベマシタ根本ニ於テ違フト云フコトハ、是ハ形式デナク唯實質ノ議論ヲ申上ゲタノデ、丁度昨晩斯ウ考ヘテ居ルガドウデスカト斯ウ申上ゲタラ、其通りデアアル、云フ御話ガ實ハアツタノデ、根本ニ於テ成ルホド考ガ違ッテ居ルノダナト云フ事

デ、實ハ最近ニ於テ確メタモノデスカラ、御紹介シタニ過ギ
ナイノデアリマス、但シハ是ハ色々見方ノ違ヒデアリマセウ
カラ、強イテ申上ゲル譯デアリマセヌガ、唯事實ダケヲ訂正
イタシテ置キマス

○菅原通敬君 成ルホド或ハ私ノ記憶違ヒデアルカ知レマ
スガ、兎モ角大藏省ノ案トシテ銀行業ノ兼營ヲ認ムルト云
フコト、起業ノ調査設計ト云フコト、信用ノ保證ト云フコ
トガ加ハテ居タル所ノ案方總テ居ラト云フコトハ、是ハ
或ル一部ニ於テ傳ヘラレテ知ラレテ居ルヤウデアリマス、
而シテ今ノ規定ノナイモノニ對シテ、當業者ガ陳述ヲシタ
ト云フハ、要スルニ前ニアッテ、後ニ無カッタモノダケヲ入
レテ貫ヒタイト云フ所ノ希望ヲ申述ベデアルモノカラ、ソ
レガ採用ニナラナカッタカト云ヘバ……當業者ノ言分ヲ採
用シテヤッタノデアルト御覽ニナルコトカ違フテ居ル、斯ウ
云フコトニナル、ソレダケ……

○安田善三郎君 此ハ此案ニ付キマシテ政府ト當業者トノ
意見ノ御交換ニナリマシタル、其主タル點ヲ伺ヒタイ積リ
デ、先刻御尋ヲ致シマシタ、圖ラズモ菅原君カラ、當業者御
總代トモ言ベキ菅原君カラ其御話カ出マシテ、思ハズ茲
ニ對談ヲ拜見スルヤウナ譯デアリマシテ、大變私ハ満足ス
ルヤウナ譯デアリマス、尙ホ御説明ニ對シテマシテ能ク考
慮イタサウト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ後ニ戻リマシテ信託
法案ノ方カラ御質問ヲ願フタ方順序ダト思ヒマス

○倉知鐵吉君 少シ抽象的ニナルカ知レマセヌカ、御尋致
シテ見タイト思ヒマス、此信託ト申ス思想ハ一體英米ノ思
想デアリマシテ、日本ニハ極ク新シイデモ、是マデ知ラナ
カッタト云フヤウナ思想ノヤウニ思フノデアリマス、而シテ
英米ニ於テハ歷史上ノ關係アリ、又民族、習慣等ニ依テ能ク
了解サレテ居ル事柄デアリマスカラ、此信託ガ英米ニ最モ
圓滑ニ且ツ盛ニ行ハレテ行クト云フコトハ、當然ナコトデ
アラウト思フノデアリマスガ、日本デハ全ク新シイ思想デ
アルノデアリマス、ソコデ是ガ果シテ日本デ英米ノ如ク行
クモノデアリマセウカドウデアルカ、サウ云フコトカ第一
ニ此議論ニナルノデアリマス、尤モ日本ニ來マシタ外國ノ
新シイ思想ガ立派ニ行ハレテ居ルモノモ澤山アルノデアリ
マス、先ヅ尤モ近イ例ヲ申上ゲマセヌガ、生命保險ノ如キハ
日本ニ無イ思想デアッタノデアリマスガ、之ヲ採用シテ盛
ニ今、日本ニ行ハレテ、能ク下級社會マデ流布シテ居ルト云
フコトデアリマスカラ、強ク日本ニナイ思想ハ行ハレナイ
モノデアルト云フコトヲ申上ゲルノデハナイガ、此信託ト
云フ思想ガ洵ニ複雜ナル、高尚ナル思想デゴザイマスカラ、
是迄ノ歷史上ノ關係ガナク、民俗習慣ノ變テ居ル所デアリ

マスト云フト、少數ノ知識社會ニハ了解サレルカモ知レマ
セヌガ、廣ク行ハレルト云フコトハ、ドウ云フモノデアラウ
カト云フ疑ヲ起スノデアリマス、先刻カラ御話ノ中ニ在リ
マスル信託會社ガ五百モ出來タト云フコトヲ承知シテ居リ
マスガ、私共カラ見ルト、是ハ信託會社デモナンデモナイモ
ノデアリマシテ、大多數ハ此法律ニ因レバ無論固有ノ信託
デナイノガ多數デアルト、私共ハ見ルトデアリマス、果シテ
信託ト云フモノカ日本デ流布スベキ要素ヲ備ヘテ居ルモノ
デアルカ、ドウカト云フコトカ第一ニ疑ハシクナッテ來ルノ
デアリマス、サウ云フコトハドウデモ宜イデヤナイカト、或
ハ御考ヘニナルカ知レマセヌガ、立法ヲ致スニ方リマシテ、
是ハ打ッチャッテ置イテモ、段々ト擴テ行クベキモノデア
ルト云フ見方カラ拵ヘマス立法ト、甚ダ困難ナル者ガアルガ
何トカシテ助成シテヤッテ行カウチヤナイカト云フ立法ハ
仕方トハ自ラ違フモノデアリマスカラ、大體ニ於テ信託ハ
日本國民ノ間ニ今後發展シテ行ク「プロバゼリテイ」ガア
ルモノト見テ居ルモノトシテ居ラレカドウデウカ、大
體ノ御趣意ヲ承ハリコトカウゴザイマセヌガ、ドテラデモ宜
ウゴザイマセヌガ、然ルベキ方面カラ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(池田實二郎君) 一應信託法ノ見地ヨリ只今ノ
御質問ニ對シテ御答ヲ致シタイト思ヒマス、御手許ニ差
上ゲテ置キマシタ信託法案說明書ト云フモノニ、日本ニ於
ケル信託發達ノ概況ヲ揭テ置キマシタ、成ルホド只今御
示シ下サイマシタ通りニ信託ト云フモノハ、英吉利ニ於テ發
達イタシマシテ、ソレカラ是ガ亞米利加ニ傳テ居ル、大體
英米ニ涉ッテ居ル所ノモノデアリマス、歐羅巴大陸ノ方ニハ
是マデ餘リ行ハレテ居ラナカッタト承テ居リマス、所ガ歐
羅巴大陸ノ方ニ於キマシテモ、段々此信託ト云フヤウナ事
柄ガ矢張起テ參ルノデ、ソレニ付キマシテ色々學者ノ研究
シタモノモ段々ト見エテ參ッテ居ルヤウニアリマス、ソレカ
ラ信託會社ト云フヤウナモノモ、獨逸アトリニ於キマシテモ
多少矢張起テ參ッテ居ル、其法律關係ニ付テモ特ニ學者ガ
矢張主トシテ英吉利法ヲ目的トシテ研究ヲシテ居ル、詰リ
社會ノ實際ノ必要ニ促サレテアルト云フ狀況デアリマス、
ソレカラ我國ニ於キマシテモ誠ニ卑近ナ例デアリマスガ、
隨分此財產ノ意義ト云フモノハ人ニアル、人ニアルケレド
モ、併ナカラ其人ガ勝手ニ使フ事ハ出來ナイ、或配合ノ爲ニ
使ハナケレバナラヌト云フ財產ト云フ者ハ隨分社會ニアル
ヤウデアリマス、私共ノ屬シテ居リマス、法曹會ト申シマス
司法官ノ會ガアリマス、只今デハ財團法人ノ組織ニナッテ
居リマス、ソレハ近年ノ事デアリマス、其以前ハ矢張一ツノ
會デアリマス、之ニハ相當財產ガアル、此財產ハ矢張……法

曹會長ニハ大審院長ヲ以テ之ニ當テ居ルカラ法曹會長ノ名
義デ銀行ニ預金ヲシテ居リマス、又投資ヲシテ居ル、併シ
是モ何モ法曹會長ノ大審院固有ノモノデナイ、矢張法曹會
ト云フモノ……目的ニ使用シナケレバナラヌ斯ウ云フ關係
ガアル、其外或事業ヲ企テマシタ寄附金ノ募集ヲスルヤウ
ナ例モ頗ル多イノデアリマス、是等モ矢張其目ノタル事
業ヲ開始シマセヌ以上ハ矢張主催者ナリ或ハ發起人ノ名
義ニハ保管シテ居ルコト、思ヒマス併ナガラ發起人其モノ
ガ勝手ニ自分ノ債務ノ辨濟ニ充テタリ自分ノ物ヲ買ッたり
シテソレシテソレ使用スルト云フ様ナ事ハ、募リマシタ意味
ノ上カラ考ヘテモスベキ者デナイ民法上ノ責任ハ如何カ知
レマセヌガ債務ガ付イテ居ル、或目的ノ爲ニ使ハナケレバ
ナラヌ債務ガ付イテ居ルモノト見ナケレバ趣旨ニ適ハナイ
ト云フコトガ隨分アルノデアリマス、是モ私達ノ極ク淺イ
經驗デアリマスガ自カラ感シタコトモアリマス又知己ガ集
リマシテ一ツ金ヲ出シ合ヒマシテ或ハ二圓ナリ三圓ナリ
フヤウナコトヲ目論シタコトガ……現ニヤッテ居ルノデス
ガ、今直ク遺族ニ渡シテモヤルト云フハ少シ困ルト云フ
事情デ當分預テ置クソレニ二三人名義デ以テ銀行ニ預
ケテ置ク、サウシテ利子ヲ之ニ與ヘル、然ルベキ時方來タラ
評議ノ上デ之ヲ渡シテヤルト云フヤウナコトニ實際ヤッテ
居ルノデアリマス、是等ノ場合ニハ名義ハソコニアルケレ
ドモ、名義人ガ勝手ニ使フベキモノデナイ、其集メタル所ノ趣
旨ニ從ッテ之ヲ使フト云フコトニシナケレバナラヌト云フ
ヤウナ譯ニナッテ居リマス、ソレカラ此關係ハ私モマダハ
ツキリ存ジマセヌケレドモ、貿易業者ナドノ間ニハ「トラス
ト、レシート」ト云フコトガ行ハレテ居ルト云フコトヲ承
テ居ル、實際ノ關係ハ存ジマセヌガ但シ矢張財產ヲ渡スケ
レドモガ、ソレハ處分シタラバ自分ノ方ノ債務辨濟ニヤ
ル譯ニ行カヌト云フ意味合ヲ以テ渡スト云フ事デ一旦財產
ハ移スモ、其移サレタ財產ハ信託ノ受取書ト言ヒマスガ、サ
ウ云フ様ナモノヲヤッテ居ルト云フ事ヲ聞イテ居リマス、是
等モマダハツキリシタ關係ハ知リマセヌガ、色々ノ關係ニ於
キマシテドウモ財產ノ名義ハ持ッテ居ルケレドモ、併シ之ニ
ハ或制限ガ付テ居ル、制限ト云フモノハ一定ノ目的ニ使ハナ
ケレバナラヌ、債務ノ制限ガ付イテ居ルト云フ様ナ現象
ト云フモノガ隨分行ハレテ居ル様デアリマス、今日發達イタ
シマシタ信託會社ト云フモノノ中ニモ、今日ニ於キマシテハ
信託ノ法律關係ト云フコトニ付テ明瞭ノ規定ガナイノデア
リマスガ、矢張信託ノヤッテ居ルヤウナ事例モ見受ケルノ
デアリマス、斯ウ云フヤウナ具合ニ矢張信託ノ或財產ヲ
處理スルト云フコトハ、日本ノ社會デモ何レノ方面ニ於テ

モ必要ナコトデアラウト思ヒマス、必シモ英米ノ社會ノ特
殊ナモノデナシニ、矢張此方ノ社會ニ於テモ是ハ必要ナ
コトデアルマイカ、而シテ又是ハ段々之ヲ主張スルト云フ
コトハ是ハ又適當ナコトデアアルマイカ、此法律關係等ハ
是ハ適當ニ處理シテ行キマセヌト云フ、如何ニモ所謂信
託、法律的デアリマセヌガ、現ニ行ハレテ居リマス信託の事
柄ノ趣旨ヲ達スルニハ、如何ニモ不便デアルト云フ事ト、信
託のニ財産ヲ預メテ居ル其財産ニ付テ、其人ノ債權者ト云フ
者ハ其財産ヲ擔保トシテ、一般擔保トシテ、其財産ニ替ヘル
ト云フ關係ニナッテ居ル、其信託ノ利益ヲ受ケル者ノ方カラ
言ヘバ其財産ト云フモノヲ受託者ノ固有ノ債務ノ方ニ振當
テラレテハ誠ニ迷惑デアアル、其間ノ利益ハ衝突シテ居ル、適
當ニ保護シテ遺憾ナカラシムルト云フノニハ、ドウシテモ
特別ノ處置ヲシナケレバナラヌト云フ必要ガアリマス、ソ
レ等ノ點カラ茲ニ法律關係ニ於テ云フコトニナッテノデ
アリマスガ、事體其モノニ付テ考ヘマシテモ色々ノ社會的
狀態ニ於テ信託ト云フモノハ段々起リテ來ルノデアアルマイ
カ、將來相當發達スルノデアアルマイカ、必シモ此英米ノ固有
ノモノデハアルマイカト考ヘテ居リマス、但シ此立法ヲ致
シマスニ付テハ、其日本ノ憲法ニ取テ居リマス、大體ノ權
利關係ニ付テハ原則ノ變更ガ加ヘナイデニ旨イ具合ニ調
和ヲ致シマスヤウニ此立法ヲ致シテ次第デアリマス、英米
ノ學說等ニ依リマシテモ、此色々信託ニ付テハ學說ガアリ
マスカラ、是ハドウモ英米固有ノモノデハアリマセヌ、ソ
レデ日本ノ在來法律ニ旨ク調和ノ取レマシヤウナ處置ヲ取
リ、又此方ノデ工夫イタシマシテ此規定ヲ致シマシヤウ
ナ次第デアリマス

○菅原通敬君 只今倉地君ヨリ御尋ネニナツタコトハ私モ
矢張り倉地君ト同ジヤウナ考ヲ根本ニ有ッテ居ルノデアリ
マスガ、英吉利ニ於テ發達シ、ソレガ又亞米利加ニ於テ發達
スル、或ハ此間大藏大臣カラノ御話ニナツタ如ク、濠洲ニ發
達スルト云フヤウナコトハ、餘程國狀ガ違フテ居ル經濟思
想モ違フテ居ル、國民ノ活動ノ有様ガ違フテ居ルカラ、海外ニ
旅行スル者ガ多イ、財産ハ内地ニ置イテ身體ハ外ニ出掛ケ
テ仕舞フ、或ハ海外ニ出稼ギヲシテ、ソコニ資本ヲ投下シテ
居ル、ソレヲ誰カニ委託シテ置カケレバナラヌト云フヤ
ウナ、サウ云フヤウナ習慣ガアル土地柄ニ於テハ此固有ノ
信託ト云フコトガ中ニ必要ナコトデアアル、從テサウ云フ土
地ニハ發達スルノデアアル、日本ノ如キ近來コソ外ハ出稼ギ
ヲスル者モ多イガ日本ノ財産ヲ空ニシテサウシテ其人ガ
海外ニ行クト云フ者ハ甚ダ少イノデアリマス、他人或ハ會
社ニ此財産ノ管理處分ト云フモノヲ委託シテ行カケレバ
ナラヌ必要ト云フモノハ極メテ少イ、唯先程池田君ノ言ハ

レマシタ通り學界デアルトカ或ハ何カノ團體デアルトカ云
フヤウナモノガ他人ノ名義ヲ以テ財産管理ヲスル必要ハア
ラウト思ヒマスケレドモ是ハ所謂個人ノ信託ノ方ニ係ルコ
トデアッテ社會ガ之ヲ營業トシテ行カウト云フヤウナ習
慣ト云フモノハ中ニ容易ニ起リテ來ルマイ、從テ社會トシテ
其業務ヲ營ンデ營利的ニ行カウト云フコトハ餘程困
難ナコトデアアル、唯金錢信託ト云フヤウナ場合ハ起リテ來
マセウケレドモ中ニソレダケデハ營業ノ目的ニナリハセ
マス、兎角制度トシテハ一ツノ財產制度トシテハ追ハ發達
サセテ行カケレバナラヌモノデアアルト思フノデアリマス
ガ其發達サスルニ付テハ先ツ之ヲ獎勵スルトカ助長スルト
カ云フ様ナ政策ガソレニ加ヘラレテ行カケレバ中ニソレ
ガ其發達シテ行クマイト思ハレハレノデアリマス、ソレハソ
レハソレト致シマシテ此信託ト云フモノノ財產制度ニ於ケ
ル地位トデモ申シマス此事ニ付テチヨット伺ッテ見タイノ
デアリマスガ、信託ト云フモノハ此財產ヲシテ融通性ヲ缺
カスモノデアアル、國家經濟ノ爲メ社會經濟ノ爲メソレハ餘リ
好マシイ制度デヤナイ、ト云フ様ナ論ガ一部ニアルヤウニ
聞イテ居ルノデアリマス、今日ノ家族世襲財產制度ノ如キ
其財產ヲシテ融通性ヲ缺カシムルコトニナル、是ハ經濟上
甚ダ面白クナイコトデアアルト云フヤウナ論モアルト同時ニ
此信託財產ニ付テ矢張同様ナ論ガアルヤウニ見ユルノデア
リマシタサウ云フ議論ガ一部ニアルト云フモノヲ思フテ居
ルノデアリマスガ、法政會議會當リニ於テサウ云フヤウナ
議論ハナカッタノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、ソレヲ
チヨット伺ッテ置キマス

○政府委員(池田寅二郎君) 信託ノ制度ハ財產ノ融通性ヲ
阻害スルト云フコトハナイカト云フコトニ付テノ議論ヲ聞
クガ、ソレハ審議會邊リニ於テハ其議論ハナカッタコト云フ
御尋ガアリマシタ、一々其時ノ議論ヲ記憶シテ居ル譯デハ
アリマセヌガ漠然タルコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ其
方ノ意味ノ御議論ハ拜聽シナカッタコト思フノデゴザイマ
ス、而シテマア茲ニ取テ居リマスル所ノ考ト致シマシテハ
必ズシモ此財產ノ融通性ヲ以テ害スルコトニハナルマイ
カト考ヘテ居リマス

○菅原通敬君 信託財產ハ有價證券ニ付テハ勅令ノ定ムル
所ニ依ッテ信託財產ナルコトヲ公示シナケレバナラヌ、株券
社債券ニ付テハ株主名簿又ハ社債原簿ニ信託財產タル事ヲ
記載シナケレバ恢復ガ出來ナイ、而シテ其信託財產ニ付
テハ強制執行モ競賣モ出來ナイト云フコトニナリマス、ト云
フ其財產ト云フモノノ融通性ガ餘程妨ゲラレルヤウニ思フ
ノデアリマスガ、ソレテモ尙ホ且ツサウ仰セラレルノデア

リマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 或ハ御議論ヲ申上ゲルコトニ
ナルカモ知レマセヌガ此信託ヲ公示イタシマスル趣旨ハ此
信託ニ背イテ不法ニ處分ガアツタ時ニ不法處分ニ對シテ受
益者ニ對スル救済ヲ與フル、斯ウ云フ爲デアリマス、ソレデ
不法處分ノ場合信託財產ヲ買上ゲテ者ニ對シテモ之ヲ取戻
サセルト云フコトニナリマスレバ、是コソ融通取引ノ安全
ヲ害スルノデアアルカラシテ、ソレハ公示方法ヲ取ラシメ
サウシテ其害ヲ受ケル者ノ無カラシムルヤウニシタイノ
ガ主體デアリマス、尙ホ今御引キニナリマス此強制執行
ノ點ニ付マシテモ信託財產ト云フモノハ受託者ノ固有ノ財
產受託者ガ勝手ニ使フベキモノデハナイ信託ノ目的ニ使フ
ベキモノデアアルト云フ關係カラ致シマシテ受託者ノ固有ノ
債權者、外ノ言葉デ申シマスレバ受託者ガ信託ノ事務ニ依
ラズシテ其外ノ關係ニ於テ借金ガアルト其ノ借金ノ辨濟ニ
信託財產ヲ以テ當テルト云フコトニナリマスレバ信託ノ目
的ト云フモノヲ達セナイト云フコトニナルカラ、ソコデソレハサ
ウ云フ固有ノ債務ノ爲ニハ押ヘシムベキモノデナイト云フ
ノデ、此公示方法モアリマスルシ、又信託財產ト固有ノ財產
ト云フモノハ之ヲ別ニ又明ニ限界ヲ區別シテ保管ヲシテ置
クト云フヤウナ次第デアリマス、信託財產ト雖モ必ズシモ
處分ヲ禁ズル趣旨ノモノデハアリマセヌ、信託財產ト云フ
コトモ矢張他ニ信託契約ノ命ズル所ニ從テ讓渡スルト云
フコトハ毫モ差支ナイ次第デアリマス、サウ云フ關係デア
リマスカラ必ズシモ是アルガ爲ニ其財產ノ融通性ヲ無クス
ルヤウニスルト云フコトニナラウト思ヒマス

○菅原通敬君 信託契約ニ基イテ信託者ガ例ヘバ有價證券
ヲ引受ケラシタ其信託者ハ其有價證券ヲ他人ニ之ヲ擔保ニ
供スルト云フコトガ出來ルカ出來ヌカ、假令ソレヲ信託ノ
目的ニ從テ擔保ニ供スル場合アリトシテモ、ソレヲ擔保ニ
受取タモノガ其財產ニ對シテ強制執行モ出來ナイ競賣モ
出來ナイト云フコトニナルト擔保ノ目的ニナラヌノデア
ルカラ、ソレハ實際事實ニ於テ行ハレヌコトニナルカト思ヒ
マスガソコハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 或ハ只今御尋シタ趣旨ヲ少シ
聞キ洩シテ居ッタカモ知レマセヌガ更ニ御打止ラ願ヒマス、
信託財產ヲ信託ノ處理上擔保ニ供シマシテ他ヨリ借入金ヲ
スルコトガ出來ルモノデアラウカドウデアラウカ……

○菅原通敬君 結局サウナリマス

○政府委員(池田寅二郎君) サウシマスレバ、是ハ信託契
約ノ趣旨ニモ依ルコトデアリマスケレドモ、其目的次第ニ
依リマシテハ一部ノ財產ヲ擔保ニシテ、サウシテ借入金ヲ
シテ信託スルト云フコトモ差支ナカラウト思ヒマス、其場

合ニ其擔保ニ供シタル云フコトハ、果シテ信託スル、趣旨ニ合スルモノナリヤ否ヤト云フコトハ、ハニ信託行爲、其信託ノ性質ニ依ルコトデアリマス、ソレサニ差支ナクンバソレハ完全ナ擔保デアリマシテ、擔保權利者ト云フモノハ立派ナ擔保權ヲ施行スル、斯ウ云フコトニナルデアリマス、ソレデ擔保權ノ實行ハ無論出來ル、斯ウ云フコトニナルマス

○菅原通敬君 其他擔保ヲ執行スルト云フコトハ第十六條「信託財ニ對シ強制執行ヲ爲シ又ハ之ヲ競賣スルコトヲ存ス」ト云フコトニハ低觸セヌト云フデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 只今ノ御尋ネハ恰モ此信託事務ノ處理ニ依ッテ生ジタル權利ト云フコトニナルデアリマス、信託事務ノ處理ト云フ此財產ヲ擔保トシテ金ヲ借入レル、是ハ恰モ信託事務ノ運用上家ヲ引受ケテ居ル、其家ヲ引受ケテ居ル、其信託事務ノ處理上家ノ修理ヲスル、大工ハ修繕費ニ對シテ民法上擔保權先取權ヲ行使シテ、其代金ヲ拂ハナカッタラバソレデ以テ競賣ヲスルト云フコトハ毫モ差支ナイデアリマス、即チ信託事務ノ處理ニ付テ生ジタル權利ト云フコトニ當タラウト思ヒマス

○菅原通敬君 信託事務ノ處理ニ付テ生ジタル權利ト云フハソレハ私ハサウ、解シテ居ラナカッタデアリマス、信託事務ニ付テ生ジタルト云フハ、信託會社ガ財產ヲ大工ニ修繕サセテ給金ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ信託會社自身ガ其事務ヲ處理スルニ付テ生ジタル權利デアッタ、擔保權利ハ信託事務ニ付テ生ジタル權利ト云フコトガ出來スト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 或ハ同ジ意味方ニナルト思ヒマスガ、詰リ受託者ガ大工ニ家ノ修繕ヲ頼ミマシテ大工ガ受託者ニ對シテ修繕料ノ代金ガアル、其代金ト云フモノヲ法律ノ規定ニ依ッテ家ノ上ニ擔保附ノ先取特權ヲ支ヘラレテ居ルト云フコトニナルデアリマス、其債權者タル大工ガ其先取特權ニ基イテ權利ヲ執行スルト云フコトハ此所ニ謂フ所ノ信託事務ノ處理ニ依ッテ生ジタル權利デアリマスカラ、恰モ其場合ニ基金ヲ借入レル時ニ擔保ニ供シタ、此時ニ擔保權利者ハ丁度大工ノ地位ニ當ルコトト思ヒマス、サウ云フ風ニ之ヲ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 左様ニ御解釋ガ出來ルト云フコトデアリマスナラバソレデ宜シウゴザイマスガ、引續イテ信託業法ノ方ニテヨット關係シテ行キマスガ、此有價證券ノ信託ヲ受ケタ場合ニ於テ、其有價證券ヲ受託者ガ信託契約ニ基イテ之ヲ運用スル、他ニ運用スル、例ヘバ政府ニ對スル擔保附ニソレヲ貸シテヤルト云フヤウナコトモ差支ナイト大藏省デハ

是ハナッテ居リマス

○政府委員(黑田英雄君) ソレハ有價證券ノ信託ヲ受ケマシタ場合ニ其信託行爲ニ規定シテアリマシテ、信託行爲ニ依ッテソレヲ他ニ貸附ケテ運用スルヤウナ趣旨デアリマシタナラバ勿論左様ニ致シテ差支ナイト思ヒマス

○菅原通敬君 更ニ此信託法ニ付テ「信託ト稱スルハ財產權ノ移轉其ノ他ノ處分ヲ爲シ他人ヲシテ一定ノ目的ニ從ヒ財產ノ管理又ハ處分ヲ爲サシムルヲ謂フ」トアリマスガ、此「其ノ他ノ處分ヲ爲シ」ト云フハ擔保權ノ設定ヲスルトカ或ハ地上權ノ設定ヲスルトカ云フヤウナコトモ含ムト云フヤウナコトニ御説明ニナッテ居ラヤウデアリマスガ、擔保權ノ設定ヲ爲シ又ハ地上權ノ設定ヲシタ場合ニ於テ矢張此財產ノ受託者ハ處分ト云フコトハ伴ハナケレバナラヌト云フコトニナラウト思ヒマス、擔保權ノ設定、若クハ地上權ノ設定ニ依ッテ財產ノ管理、又ハ處分ト云フヤウナコトハ事實起テ來ルデアリマセウガ、起ラヌモノデアリマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 此一條ニ於テ「其他ノ處分」ト云フコトヲ書キマシタ、其趣意ハ只今菅原君ノ御質疑ニナリマシタヤウナ意味デアリマス、ソレニ付キマシタ財產ノ管理處分ダト云フコトガ起テ來ルモノデアラウカト云フ御尋ネノ趣旨ト拜聽致シマシタ、此信託ノ爲ニ擔保權ヲ設定スル、マア一番今顯著ナル例ハ擔保附社債ノ信託法ニ依リマシテ社債ニ屬スル信託擔保ト云フモノハ、是ハ信託契約ニ依ッテ設定スルコトニナルデアリマス、即チ其場合ニ於キマシテ其擔保權ガ即チ信託財產デアリマス、其擔保權ヲ信託ノ趣旨ニ從ッテ管理處分ト云フコトデ此所謂管理處分デアリマス、ソレカラ今ノ地方權ノ場合ガアリマスレバ所有權ハヤラナイガ、地上權ハヤル、併シ此地ニ上權ト云フモノハ家ニ在ルカラ之ヲ適當ニ處分シテ與レト云フコトデアリマスレバ或ハ其趣旨ニ隨ヒマシテ其地上權ヲ賣ツタリ、或ハ何シテ相當ノ目的ニ供スル、或ハ地上權ニ基イテ之ヲ人ニ貸附ケテ借地料ヲ取ツテ其信託ノ目的タル事柄ヲ實行スルコトニナルデアリマス、ソレ等ハ管理處分ト云フコトニナルデアリマス

○菅原通敬君 ソレカラ又信託業法ノ方ニテヨット關連シテ來マスガ、信託業法ノ第四條ニ掲ゲテアル是等ノ物品ニ付テハ矢張リ擔保權モ認メラレル御趣意デアリマセウカ

○政府委員(黑田英雄君) 擔保權ノ信託ヲ受ケルト云フコトハ此所ニ認メテ居リマセヌデアリマス、唯タ先程御質問ノ内ニ地上權ト云フモノガアリマシタガ此地ニ上權ハ此所ニ認メマシタヤウニ家屋等ヲ所有スルノ必要ト認メマシテ居リマスガ、此擔保權ノミニ信託ト云フコトハ認メテ居リマセヌデアリマス

○菅原通敬君 第四條ハ「左ニ掲ゲル財產以外ノモノ、信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得ス」要スルニ左ニ掲ゲル財產ニ付テハ信託ノ引受ケヲ爲スコトハ出來得ズ而シテ例ヘバ不動產ニ付テハ出來ル、或ハ土地ニ付テハ出來ル、謂ハバ土地ノ所有權バカリデナシニ其擔保權モ矢張リ信託スルコトガ出來ルト云フコトニ解釋ヲ當然シナケレバナラヌ、擔保權ノ信託引受ガ出來スト云フコトハ、此明文デハ分ラヌヤウデアリマスガ、ドウシテソレガ出來スト云フデアリマス

○政府委員(黑田英雄君) 是ハ土地ト申セバ即チ土地ノ所有權ノ積リデ居リマシテ其爲ニ土地ノ上ニ存スル賃借權或ハ地上權ヲ認メル爲ニ五號ヲ置イタ譯デアリマシテ、土地ト云フモノハ土地ノ所有權ノ積リデ、此ノ書キ方デ左様ニ解釋ノ出來ルヤウニ私ハ考ヘヘテ居ルデアリマスカラ、若シ出來ルト云フコトデアリマスレバ、サウ云フ御意見カト思ヒマスケレドモ、是デ左様ナ趣旨ヲ以テ茲ニ規定ヲシテ居ルデアリマス

○菅原通敬君 ソレハ極メテドウモ不明確ナ御答デアルト思フガ、例ヘバ有價證券ノ如キ、有價證券ニ對シテ財產權ヲ移轉スルコトモ、亦擔保權ヲ設定スルコトモ信託ト云フモノノ本義カラ言ヘバ兩方トモ行ハナケレバナラヌ、信託法ノ第一條ヲ以テ解釋シテ來ナケレバナラヌ、ソレデ是ハ唯財產權ノ移轉ノ場合ノミデアルト云フコトハドウシテモ第四條カラハ讀メヌト思フ

○政府委員(黑田英雄君) ドウモソレカラ先キハ御意見ノ相違カト思ヒマスガ、茲ニ掲ゲテアルノハ金錢ト云ヘバ金錢ノ所有權、有價證券ト云ヘバ有價證券ノ所有權デアリマシテ、債權ヲ認メレバ金錢債權ト云フコトヲ特ニ掲ゲテ居ルデアリマス、四號ノ土地ノ所有權、土地ノ地上權土地ノ賃借權ト特ニ規定シテ居リマスルヤウナ譯デアリマス、是等ノモノヲ目的トシテ擔保權ヲ認メルモノデアリマスレバ、特ニ地上權トカ或ハ賃借權ト云フモノヲ記載シナケレバ其權利ヲ信託ノ引受ヲスル目的物ト致スコトハ出來ナイノガ當然ラウト考ヘテ居ルデアリマス

○菅原通敬君 ドウ云フ御趣意ニ御書ニナッタト云ヘバ兎ニ角、法文トシテハ不明確ト云ハネバナラヌデアリマス、ソレナラバ何故ニ第四條ニ於テハ擔保權ヲ設置スル事ヲ御認メナラヌデアリマスガ、現ニ今日ノ信託會社ハ擔保ノ目的ヲ以テ財產ヲ受取ツテ居ル業務ヲ營ンデ居ル者ガ頗ル多イ、或會社ノ如キハ主タル業務トナッテ居ル、ソレヲ認メルコトニ付テハ何カ弊害デモ御認メニナッタノデアリマス

○政府委員(黑田英雄君) チヨット御質問ノ趣意ヲ或ハ私ガ誤解イタシテ居ルカ知レマセヌ、私ノ了解シタ所ニ於テ

御答申上ガタイト思フノデアリマスガ、只今ノ御質問ハ今日ノ信託會社ガ擔保ノ目的ヲ以テ取ツテ居ルニ、何故ニソレヲ認メナカバカト云フ御話デアリマスガ、先程カラ私ガ申上ダテ居リマスルノハ、擔保權ヲ目的トスルノデアアル、即チ有價證券ノ如キ、有價證券ト云フモノ、所有權ハ私ガ持ッテ居、其ノモノノ實權ガテ信託會社ニ信託スルコト云フノヲ認メテ居ラスト云フコトハ申上ダタノデ、有價證券ノ所有權ヲ信託會社ニ信託シテ、ソレヲ運用スルノハ擔保ニシテ運用スルコトカ、或ハソレヲ他ノ商事貸借ヲシテ運用スルコトカ、或ハ使用貸借ヲシテ運用スルコトカ云フ事ハ、別ニ禁ジテ居ルノデアアリマセヌ、唯茲ニ禁ジテ居ルノハ、自分ガ土地ナラバ土地ヲ持ッテ居、土地ノ上ニアル抵當權ノミヲ信託會社ニ信託スルコト云フコトハ信託ノ營業トシテ必要モナシ、又抵當權ノミノ信託ヲ引受ケルコト云フコトハ、殊ニ營業トスルコト云フ事ハ、今日ニ於テ實際ニ於テモナト思ヒマス、有價證券ニ於テモナト確信シテ居リマスガ、又私ガ御質問ノ趣旨ヲ誤解シテ居ルナラバ改メテ申上ダマス

○菅原通敬君 サウスルト又戻テ信託法ノ方ニ付テ御尋シナケレバナラヌノデアアリマスガ、所謂賣切抵當デアルカ賣切擔保ト云フコトハ今度ハドウナルノデアアリマスカ
○政府委員(山内確三郎君) 所謂賣切擔當ノコトニ付キマシテハ、信託法案ヲ議スル際ニ問題ニナツタデアリマス、併ナガラ此文ハ今日ノ判決例ニ於テ相當ニ處理ガ出來テ居ルノミナラズ、此信託法案ノ趣旨ニ依テ之ヲ律スル事ハ不當ト認メタルデアリマス、例ヘバ賣切擔當ヲ一ツノ信託ト見ルコトスルコト云フコトニシマス、是ハ相續シテナラズト云フ理窟モナクデアリマス、或ハ其他此法ノ多クガ抵觸シテ居ルヤウナ次第デアリマス故ニ、賣切擔當ハ是ハ英法ニ於テモ信託ナラズト云フ解釋デアリマス、所謂信託「ツラスト」デナイト云フ意味デ、此案ノ中ニモ賣切擔當ニ付テハ規定シテナイノデアリマス、是ハ實際ノ上ノ解釋ニ於テ運用ガ付イテ居ルノデ、ソレデ十分デアル、若シ賣切擔當ノ事ヲ法律ヲ以テ明カニスルナラバ、別ニ規定ヲナサナケレバナラズトスルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 又業法ノ方ニ戻リマスルガ、今ノ信託會社ハ依託者ノ不動産ヲ擔保ニ取ツテ、サウシテ其擔保ト云フモノハ依託者ニ對スル債權ノ所謂擔保ニシテ居ル、ソレデ依託者ハ信託會社ニ對シテ擔保權ヲ設定スルコトニ信託ヲシテソレガ出來ルカ出來ヌカ
○政府委員(黑田英雄君) ソレハ此信託會社ガ所謂信託ノ引受トシテ致スノデアリコトハ申スマデモナイノデアリマスカラ、資金ノ運用トシテソコデ賣切抵當デソレヲ取ルカト申シマス、ソレハ資金ノ運用ト致シマシテハ、茲ニ

列舉イタシテ居ルノデアリマスルカラ、賣切抵當權ヲ呈シテサウシテソレヲ擔保トスルコト云フコトハ此法案デハ出來ナイヤウニ考ヘルノデ、唯ソレヲ法律關係カラ買入レタ、不動産ノ買入ト云フコトハ資金ノ運用トシテ認メテ居ルノデアリマス、又有價證券ノ買入ト云フコトハ認メテ居リマスルカラ、其買入レタコトニ依テソレハ運用シテ居ルノデアルト云フコトカラ申シマスレバ、勿論買入ハ出來ルト思フノデアリマス

○菅原通敬君 依託者ガ受託者ニ對シテ自分ノ所有財產ヲ擔保ニ提供スル、詰リ擔保權ヲ信託會社ニ設定スルカラ、ソレニ依テ其擔保權ヲ利用シテ資金ヲ造ツテサウシテソレニ依テ運用ヲ圖リテ實ヒタイ、斯ウ云フヤウナコトガ出來ナケレバナラヌノデアリマス、ソレヲヤラセヌト云フノハドウ云フ譯カト云フノデアリマス
○政府委員(黑田英雄君) ソレハ初メニ申上ダマシタヤウニ擔保權ノ信託ノ場合ニ關スル御質問デアリマス、ソレハ此法律ハ認メテ居リマセヌ、ソレハ先刻申シマシタヤウニ擔保權ノミヲ信託スルコト云フコトハ實際ノ營業ノミデハ今日必要ガナカラウト云フ考ヘテ持ッテ除イテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 必要ガナト御覽ニナツタ理由ハ何レニアカト云フコトデアリマス、當業者ハ必要ダト云フテ居ル又實際當業者ハ擔保權ヲ受取ツテ居ル今日……
○政府委員(黑田英雄君) 其點ハ私ノ或ハ考ヘ違ヒト御シヤラレカモ知ラマセヌガ、實際ニ於テ私ハナイヤウニ思ヒマス、當業者カラノ最近ノ一番新シイ陳情ニ於キマシテハサウ云フ要求ハナイノデアリマスルカラ私ハ當業者モ希望シテ居ラヌコト考ヘテ居リマス

○菅原通敬君 ソレハ斯ウ見テ居リマス、信託法第一條ニ擔保權ノ設定ト云フコトガ當然信託引受ケトシテ出來ルコトニナツテ居ル、而シテ業法ノ第四條ニハ所有權トノミ限リテ居ラス、所有權ノ移轉ノ云フコトニハ限リテ居ラス、唯財產ノ制限ヲシテ居ルノデ、信託ノ引受ノ出來ル財產ハ所有權ノ移轉シ擔保權ノ設定共ニ出來ルモノデアアル、斯ウ云フ解釋デアアルカラ特ニ云ハヌノデ特ニソレガ出來ヌコト云フ風ノ御考ヘニナルト大變遠ザカルト思ヒマス、先ヅ……
○政府委員(黑田英雄君) 宜シゴザイマスカ
○菅原通敬君 宜シウゴザイマス、後デ、議論ノ種々ナル、受託者ガ破産シタ場合ニ於テハドウ云フコトニナリマスカ受益者ガ破産シタ時ト兩方……
○政府委員(山内確三郎君) 委託者ガ破産シタ場合ニ付テハ破産法ノ草案ヲ議スル際ニ討究ヲ致シタノデアリマス、而シテハ信託財產ナルモノハ破産財團ニ入レルガ宜イカ入レナイガ宜イカ、我々ノ考ヘデハ入レナイガ宜イト云

フ點ヲ以テ丁度華族世襲財產ヲ破産財團ニ入レズシテ……併ナガラ華族世襲財產ト雖モ新シイ華族世襲財產法ノ規定ニ依リマス、ト不法行為ニ因ル債權ニ依リ、或ハ世襲財產ノ管理ニ依ツテ生ジタル債權ニ依リテ差押ヘルコトカ出來ルカラ一方カラ云ヘバ差押ヘルコトノ出來得ベキ財產ノコト、其他ノ債權ニ基イテハ絕對ニ差押フルコトガ出來ヌコト、方ニ於テハ差押フベカラザル財產デアアル、サウ云フコトデ華族世襲財產ヲ何レニスルコト云フコトニ付テハ破産財團ニ入レナイコトニ致シマシタ、ソレデ此信託財產モ同様ニシナケレバナラヌ譯デアリマス、然レニ破産法ノ草案ヲ議會ニ提出イタシマスル際ニハ信託法案ハ未ダ確定シテ居ナカ、ソレデ破産法案ノ中ニハ此點ニ付テハ何等規定ハナイノデアリマス、ナケレバ信託財產ト雖モ委託者ノ財產トシテ破産財團ニ遺入ル、遺入ルノデアリマスガ、信託法案ニ於テ其財產ヲ差押ヘルコトヲ得ル範圍即チ債權ノ範圍ナルモノガ定マテ居ル、委託者固有ノ債權ニ基イテ信託財產ヲ差押ヘルコトガ出來ナイト云フコトニナルカラ委託者ノ固有ノ財產ニ對スル所ノ債權者ハ信託財產カラ配當ヲ受ケルコトハ出來ナイ、信託財產以外ノ財產カラノミ配當ヲ受ケル、ソレカラ信託財產カラ配當ヲ受ケル者ハ誰デアアルカト云フコトハ信託財產ニ付キ差押フルコトヲ得ル債權者ノミ、サウ云フコトデアリマス、カラ破産財團ノ管理換價ニ付テ恰カモ相續財產ニ付ニ管理換價スル上ニ付テ區別シテヤルト同様管理換價シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナル、併ナガラ是ハ他日矢張華族世襲財產法ノ如クソレヲ包含スルカ適當デアアルカ知ラヌト考ヘマスガソレハ將來ノ問題デアリマス、此現在ノ破産法ノ草案ノ際ニ於キマシテハ只今申上ダマシタ通りデアリマス、受益者ノ破産ノ場合ニ於キマシテハ受益者ノ單純ナル債權ニ基ツクモノニ付テハ破産財團ニ遺入ルコトハ勿論デアリマスガ、信託財產其モノハ他人ノ財產デアツテソレハ受益者ノ破産財團ニ入ラナイ、併ナガラ此信託法案ノ規定ニ依ルト其信託財產ヲ換價スルニアラザレバ受益者ノ債務ノ辨濟ハ出來ナイト云フ場合ニ利害關係人等ノ請求ニ依ツテ債務者ノ信託財產トスルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニシテ受益者ガ破産狀態ニ陥ツタ場合ニ明カニ信託解除ノ原因ヲナスモノノ一ツデアアル、解除セラレバ其解除セラレタルモノハ受益者財產中ニ遺入ツテサウシテ是ガ破産財團トナル、併シナガラ解除出來ルモノハ制限ガアルノデ、信託財產カラ生ズル信託ニ關スル受益權ノ請求、ソレガ、破産者ノ利益ニ歸スベキ場合デアレバ信託ハ出來ナイ、出來ナイ場合ニ於テハ信託財產ハ當然破産財團ニ入ラサルコトハ當然デアリマス

○小山健三君 私モテヨット伺ヒタイ、大體信託法案ハ餘程

長ク朝野ノ法曹大家ノ御研究ニナツタコト思ヒマス、我々法律ノ知識ノナイ者ハ頗ル敬服シテ居ル次第アリマス、唯實際上ニ運用シテ居リマス事ハ自分共ハ實際彼是當テ居リマシテソレニ付キマシテ初メノ公益信託ノコトニ付キマシテ財團法人ノ餘程其豊ヲ摩シテ居ル感ガアリマス、ソレカラ財團法人、ドウ云フモノヲ財團法人トスルカ、ドウ云フモノヲ公益信託トスルカ、全ク是ハ設立者ノ任意デアッテ意ノ赴ク所ニ依ッテ決メタルト云フ便宜ニ依ッテ決メテ差支ナイノデアリマス、何カ自ラ標準ガゴザイマス、法案ヲ見ルト殆ド效果ガ同ジイヤウデアリマスガ財團法人ノコトハ餘程發達シテ参リマシテ私共五ツ六ツノ財團法人ノ理事モ關係シテ居リマスガ餘程興味ノアル組織ダと思フテ居リマスガ公益信託ニ付キマスル運用上ノ御考ヘラ一應伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 此公益法人即チ財團法人トノ關係ニ付キマシテハ信託法案ノ綱領ヲ法制審議會ニ於テ議スル場合ニイロノ議論ガゴザイマシタ、或ル學者ハ公益信託ガ出來レバ公益法人ハ要ラナイ、即チ財團法人ニ關スル規定ハ之ヲ廢止スベシト云フ議論モ出タノデアリマス、併シナガラ其他ノ全體ノ意見トシテハソレハ理由ノナイコトデアル、大體此法律上ノ標準ト云フモノデハアリマセヌガ凡ソ公益法人トスルモノハ其事業經營ニ於キマシテ比較的長期繼續スルモノニ付テハ是ハ信託ノ目的デナイコトガ多イダラウ、併ナガラ又一面カラ考ヘマスト必ズシモサウデナクシテ簡易ナモノデアリマス、例ヘバ學會ト云フヤウナモノ、是ハ永續的デアリマセケレドモ、併ナガラ法人組織ニセズニ財產ヲ會長ニ信託シテ置クト云フヤウナコトモアル、概シテ申シマスルト公益信託ハ寧ロ永續的デナイモノガ多ク利用サレテ居ルデハナイカ、例ヘバ一時ノ貧民救助ノ爲メニ寄附トカ或ハ罹災救助トカ云フヤウナコト、例ヘバ市町村長ニ之ヲ信託スル、其他公益法人ニ信託スルト云フコトガアルダラウと思フ、併ナガラ今日多クアリマス財團法人、即チ學校組織ト云フヤウナモノニ信託ヲスルト云フヤウナコトハ餘リ適當デナイカモ知レヌ、又サウデアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ此法律デハドウ云フ場合ニハ公益法人ニスルカドウ云フ場合ニハ公益信託ニスルカト云フ區別ハ立ッテ居ラナイノデ、自ラ其適當不適當ト云フハ當事者ノ意思ニ依ッテ其當時ノ事情ニ依ッテ標準ガ付クダラウ、又主務官廳ノ認可ノ問題ニ付テモ……併ナガラ主務官廳ノ認可ハ是ハ信託ニシテ、公益法人ガ不適當ト云フコトヲ云フベキ筈デハナイ、併ナガラ相當ニ考慮サレルコトト考ヘテ居ル、併ナガラ此公益信託ノ本トスル所、目的トスル所……公益法人ノ目的トスル所ハ共ニ同一デアリマス

シテ民法ノ公益法人ノ目的タル所ノ事項ヲ其儘公益信託ニ於テモ並ベテ居ル、要スルニ其時代、各場合ノ事情ニ依リマシテ當事者ノ意思ニ依ッテ定マルコトト私ハ考ヘテ居リマス

○小山健三君 只今其信託法案ノミノ質問デスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其方ガ便利ダと思ヒマス

○小山健三君 如何デゴザイマセウカ、信託法案ノ中ニ信託業ノコトモ段々出テ居ルヤウデアリマスガ、議事ノ進行ヲナスタ方ガ便利ダと思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 勢ソコニ至ツタカラ今迄御許シシテ居ル……

○小山健三君 サウスレバ信託業法ノ方ノ質問シテ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 宜シウゴザイマス

○菅原通敬君 モウ少シ如何デス、信託法ヲ御ヤリ下サッテハ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ……

○菅原通敬君 第三十四條ニ「受託者タル法人カ其ノ任務ニ背キタルトキハ」トアリマスガ、其ノ任務……「其ノ」ト云フ字ノ意味ハドウ云フノデアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ要スルニ信託違背、即チ受託者ガ信託ニ依ッテ負擔シタル義務ニ違背シテ、例ヘバ信託會社ノ財產ヲ處分スル管理ヲスル或ハ横領スルヤウナ場合デアリマシテ、要スルニ甲ノ目的ノ爲メニ信託スルトベクフノ自己ノ用途ニ之ヲ使フトカ、或ハ有價證券ヲ買フベキ信託ヲシテ居ルノニ金錢ヲ……不動産ヲ買フトカ、故意ニイタシマスル場合モアリマセウガ、過失ニ依ッテスル場合モアリマス、ソレニ依ッテ損害ヲ生ズル其場合ニ付テノ規定デアリマス

○菅原通敬君 信託契約ニ違反シタル場合ノミニ係ハルノデアリマスルカ、或ハ此受託者ト云フモノガ善良ノ管理者ノ注意ヲ以テシナケレバナラヌト云フヤウナサウ云フ一般ノ義務ニ違反シタル場合ニ係ハルノデアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 信託履行ニ對シテ義務違反デアラナラバ勿論管理ニ付テ不當ノ管理スルノモ善良ナル管理者ノ注意ヲ怠ルト云フノモ此中ニアル

○菅原通敬君 左様ニイタシマスト云フト非常ニ意味ノ範圍ガ廣イノデ、惡意ノアル人ノイタツララスル武器ニ利用セラルル場合ガ頗ル多クナルヤウナ處ガアリハセヌカ、其信託者ガ管理ヲシテ居ル其當時ニ於テハ敢テ任務ニ背イタト見ラルベキ程ニアラザル所ノ事態ヲ後ニナツテ之ヲ摘發シテ、サウシテ之ヲ陷中レヤウト云フ道具ニ使ハレル處ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニナ

リマスト云フト其受信託會社ガ無限ニス様ナル責任ヲ負ハシメラルルト云フ結果信用アル誠意ノアル所ノ人ハ好シデ其重役ノ地位ニ就クト云フヤウナコトヲ躊躇スルヤウナコトニナル、從ッテ信用アル會社ハ發達ヲ圖ル上ニ於テ大變妨ケラ來タスト云フ處ガアリハセヌカト思フノデアリマスガ、サウ云フ處ガナイ御見込ミデアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 信託違反ノ行為ニ依ッテ私人即チ個人ノ受託者モ尙ホ此場合ノ責任ガ同様デアリマシテ契約違反……其場合ノ損害賠償ハ勿論民法ノ規定ニ依ラナケレバナラヌト云フコトハ當然デアル、ソレデスカラソレハ法人デアルト、而シテ理事ノ行為ガ結局法人ノ行為ニナル場合ニ法人ガ其責任ヲ負ハナケレバナラヌノデ……併ナガラ理事ノ行為ニ付テハ法人ガドノ程度ニ於テ責任ヲ負フカト云フ事ハ商法ノ解釋デアル、例ヘバ株式會社ニ付テ言フト取締役ガ或程度ニ於テ外部ニ對シテ責任ヲ負フハ無限責任ト云ハレマシタガ、所謂無限責任ト云フコトハ例ヘバ貯蓄銀行ノ取締役デアリマスルト云フト、其時ニハ銀行ノ義務ニ付テ自分ノ在任中ニ生ジタ債務デアラナラバ、ソレガ法人ト連帶シテ責任ヲ負フト云フコトノ規定ガアル此合名會社ト無限責任社員ガ會社ト連帶ノ義務ヲ負フト云フヤウナコトト同ジデ貯蓄銀行ノ(聽取シ難シ)直接責任ヲ負フト云フコトデアリマカ、是ハ無限責任デアラガ、此問題ハ社員ノ不法行為ニ付テノ責任……其不法行為ガ亂用シタ理事、是ガ責任ヲ負フト云フ問題デ連帶責任ヲ負フ、勿論此任務ハ必ズシモ不法行為トモ限リマセケレドモ、不法行為ノ場合ニ多イト思フ、而シテ世ノ中ノ奸猾ノ徒ノ非違ヲ發イテ、而シテ會社ヲ紊亂サセルトカ或ハ個人デアッテモ是ハ罪辟ニ觸レベキ手段ヲ執ルト云フコトガ能クアルコトデアリマスルガ、是等ハ法ヲ濫用スル所デアル、是ハドンナ立派ナ規定ヲ設ケテモ惡弊ナル手段ヲ以テ其人ノ名譽ヲ傷ケ、其人ノ財產ヲ傷ケントスル惡辣ナル徒ガアレバソレハ法律ニ何ト書イテアッテモ矢張り暴行ヲスル者ガアル、併シナガラ斯ウ云フ暴行ノ徒ガ法律ヲ濫用シテ人ヲ苦シムル所ノ弊害ハナカク免レヌモノデアル、是ハ他日立法ヲ以テ何カ處理ヲ致シタイと思フ、權利ノ濫用、法ノ濫用ト云フコトハ決シテ法律ニ於テ保護スベキモノデナイ、將來民法等ニ依ッテ完全ナル改正ヲシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、是ガアルガ爲メニ不法行為ニ與ッテ所ノ者ハ其責任ヲ輕クシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツタラ又自ラ別問題デアル、ソレデサウ云フ次第デアリマスカラ私ハ惡イ奴ガ居レバ何カ惡戯ヲシテ會社ヲ苦シメハシナイカト云フ御尋ニ對シテ自分ノ不法行為ニ對シテ責任ヲ輕減スル理由ニハナ

ラス、愚辣ナル徒ヲ制裁スル途ハ是ハ別ニ講ジナケレバナ
ラスト云フ考デアリマス

○菅原通敬君 民法商法等ノ一般ノ責任程度ニ委シテ置ク
コトハ出来ナイデ、特ニ信託委託者ニ對シテノミス様ナ責
任ノ重キモノヲ加ヘシメナケレバナラスト云フ理由ハ何處
ニアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 本來ナラバ不法行為ノコトガ
是ハ當然ノコトデアリマス、併シナガラ抑モ信託ト云フモ
ノハ御承知ノ通り絕對ノ信用ヲ成立シテ居ル、其絕對ノ信
用ヲ以テ成立スル此信用ヲ以テ信託スル、例ヘバ主ガ自
分ノ子供ハ財産ヲ消費スル嫌ガアルカラ信託會社ニ信託ス
ル、サウ云フコトガアルカ知リマセヌガ、兎ニ角信用法人ニ
信託スルト云フ場合ニ於テハ其財産ノ管理ニ付テハ別段ノ
注意ヲシテ貰ハナケレバナラス、サウ云フ次第デアリマス
カラ、此信託ニ違反スルト云フ行為ニ付テハ固ヨリ其責任ヲ
持タサネバナラス、而カモ其財産ヲ或ハ横領スルト云フ様
ナコトニナレバ之ハ不法行為ノ當然ノ結果ヲ來シマスガ、
ソレヲ等閑ニシテ置イテハ財産ヲ無クシテ仕舞フ、或ハ管
理スルノニ分離シテ管理スベキモノヲ他ノ財産ト混合シテ
一級債權者ヲシテ押ヘシムルト云フコトニナツテハ信用ヲ
基礎トシテ信託ハ如何ニモ信託スベカラザル信託デアレ
バナラヌト考デアリマスカラ是責任程度ハ極限シナケレ
バナラヌト考ヘテ居ル、ミナラズ株式會社等ニ於テハ矢
張り商法ノ規定ニ於テ財産ヲ減少セシムルコトガアル場合
ニ於テ矢張り連帶責任ヲ持タシテアル、信託ニ付テハ殊ニ
此コトヲ明ニシテ信託ノ信託タル所以ヲ法ノ明文ヲ以テ開
明シタイ考ヲ持テ居リマス

○菅原通敬君 財産ヲ横領スルト云フヤウナサウ云フ事柄
ニ對シテハ別ニ制裁ノ規定ガアルノデアリマスカラ必ズシ
モ三十四條ノヤウナ規定ヲ置クニ及バヌヤウニ考ヘマス
ガ、其所ハマア意見ノ相違ニナリマセウカ信託ノ場合ノ外
ニ理事者ニ對シテ斯様ナ責任ヲ負シテ立法令ガ他ニ何カア
リマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 信託ニ關シテハ斯様ナ規定ガ
アルヤウニ記憶シマスガ、信託以外ニ責任ヲ負ハシテ居ル
例ト云フコトニ付テハ私ハ能ク承知シマセヌガ、例ヘバ取
締役ガ會社ニ損害ヲ生ゼシメテ第三者ニ對シテ定款ノ規定
ニ反シテ財産ヲ減少セシメタルコト云フヤウナ時ニハ其場合ニ
取締役ハ其責任ニ任ズルト云フ規定ハアル、サウ云フ次第
デアリマスカラ、信託ニ付テハ英國法ト同ジコト規定ガア
タヤウニ聞イテ居リマスガ、今詳細ノコトハ記憶イタシマ
セヌ、是ト同ジヤウナ規定ガ外國ニ或ハ内國ニアルカナ
カト云フコトハ今日承知イタシマセヌ

○菅原通敬君 若シ御調べガ出来マシタラバ御示シ
ス

○政府委員(山内確三郎君) 調べガ出来マスレバ申上ゲマ
ス

○菅原通敬君 實ハ信託法ニ付テハ各條ニ付テ私共ノ了解
ノ届カヌ點モアリマスカラ願クハ各條ニ付テ説明ヲ伺ヒタ
イ、ソレニ對シテ御尋ネラスルト云フコトニシテ審議ヲシ
タイト思ヒマスガ、今日ハ大分時刻モ移リマスカラ明
日ニ願ヒタイト思ヒマス

○委員(伯爾兒玉秀雄君) 伺ッテ見タイト思ヒマスガ、信
託ノ法理ガ微妙ナノデ、我々ノ頭モ餘程難シク思フノデア
リマスガ、何處カ外ノ學說デモウ少し大事ノ規定ヲ準用ス
レバ行クヤウナ學說ハアリマセヌカ、所謂稅法ヲ見マス
受託者ニ課稅スル制度ガアル、受託者ヲ信託財産ヲ有ス
ル者ト看做シテ課稅スルト云フヤウナ風ニ逆ニ書イテ居ル
ヤウナ規定ガ他ノ法律ニ浮ンデ來ルヤウナコトデアリマス
ガ、モウ少し民法上ノ規定ヲ密接ニ當嵌メテ行ッテ信託法
ノ規定ヲモウ少し簡易ニスルト云フヤウナ立法令カ、學說ガ
アリマセヌカ、參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイ

○政府委員(山内確三郎君) 此信託ト代理ト云フ關係本來
近イノデアリマスガ、御承知ノ通り昔ノ直接代理、間接代
理……此間接代理ニハ日本ノ法律ニアルモノニハ、例ヘバ
商法ノ中ニ「商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行為ヲ爲スコトヲ
業トスルモノ」是ガ一つノ間接代理ノヤウナコトニナルダ
ラウト考ヘル、即チ自己ノ名ヲ以テ商業ヲスルカ、若クハ計
算モ全ク自己ノ名デアレバ、是ハ問題ニナラス、例ヘバ子
供ノ財産、子供ノ利益ノ爲ニ父ガ自己ノ名ヲ以テ商業ヲ營ム
ト云フコトモ商人ニ於テハ或ル場合ハ廣ク云ヘバ信託自己
己ノ名ヲ以テ他人ノ財産ニ關スル一切ノ商業的法律行為ヲ
スルノデアリマスケレドモ、計算ノ利益ハ皆他人ニ歸スル、
或ハ問屋ノ問題ニ付テ申スト、問屋ハ自己ノ名ヲ以テ他人
ノ爲ニ物品ノ販賣又買入ヲ業トスル者、斯ウナテ居リマス
ガ、仲買ハ自己ノ名前デアレバ、併ナガラ、其法律行為ノ利
益販賣買入ノ利益ハ誰ニ歸スルカト云フト、信託者ニ歸ス
ル、商品モ問屋ノ場合委任ノ規定ヲ準用スルト云フコトニ
ナツテ居リマスガ、之ヲ廣イ意味デ申シマス、信託トナル
ノデアリマス、然ルニ更ニ一步進ンデ所謂例「ツラスト」
ニナリマス、ソレ以上ニ進ンデ財產ノ所有權ヲ移轉スル、
斯ウ云フコトニナツテ來ル、財產ノ所有權ヲ移轉シテ、而シ
テ其處分ハ他人ノ爲ニスル此意味カラ言ヒマス、稍ノ間
接代理ニ近イノデアリマスガ、併ナガラ英國ニ於キマシテ
モ信託ノコトニ付キマシテハ、色ノ議論ガアッテ二重ノ所有
權デアル、名前ニ於テハ受託者ノ所有權デアルガ、實ニ於テ

ハ受託者ノ所有權デアル「ダブル」デアルト云フコトヲ説
イテ居ッ、併ナガラサウ云フ觀念ハ日本ニ入レルコトハ出
來ナイト考ヘマス、所有權ガ二重ニアルト云フ事ハ私ハ日
本ノ法理ニハ合ハナイ、ソレデ信託ヲ日本の「解釋スレバ、
人カラ財產ヲ預ク財產ハ内部ニ於テモ外部ニ於テモ受託
者ノモノデアル、而シテ受託者ハ人ニ債務ヲ負フ受託者
ノ爲ニ管理スル、處分スル、利益ハ受託者自ラ收メ、丁度極
端ニナリマスガ、負擔附屬與ト云フコトガアリマス、人カラ
物ヲ貰、テソレ、付テ負擔スル、之ヲ甲カラ乙ニ讓與スル、
其代リ己ノ子供ヲ養、テ吳レ、負擔附屬與、是ハ信託ニ似テ居
リマス、所有權ハ完全ニ留保シテ、他人ノ爲ニ財產ヲ管理ス
ル處分スル、即チ義務的ニ財產ヲ持テ居ルモノト云フコト
ニナツテ始メテ日本ノ民法商法ニ合フノデアリマス、唯負擔
附屬與ト異ナルコトハ、債務ハ單純ノ當事者間ノ債務デア
リマスガ、此信託ハ當事者間ノ債務ニシテ置イテ受託者ノ
利益ヲ安全ニ保護スルノデアル、之ヲ登記シテ第三者ニ對
抗セシムル、債權ニシテ第三者ニ對抗スルニモ所有權ハ有
テ居ル、サウ云フコトニナラス、所有權ハ完全ニ有テ居
ルコトニナラス、其信託ハ之ヲ「ダブル」ト見ズシテ内部
ニ於テモ外部ニ於テモ受託者ガ所有權ヲ有テ居ル、其所有
權ヲ管理處分スルニ付テ他人ノ利益ヲ擧ゲ、他人ノ利
益ニ付テ財產ヲ管理シテ行ク義務ガアル、其受託者ノ債
權ノ登記シタ場合ハ勿論デアリマスガ、登記セザル場合
ニ於テモ受託者ノ不利益ハ處分ヲシタト云フ場合ニ於テ
ハ、其處分カラ利益ヲ受ケタ第三者ト云フモノハ、矢張り信
託ヲ元ニシテ受託者ガ信託財產デアルカラ、此財產ノ處
分ハ無効デアル、取消スト云フコトマデ此案ハ進メテ居
ルノデアリマス、要シマスルニ所有權ヲ自分ニ留保シテ他
人ノ爲ニ此財產ヲ管理シテ行クコト云フ債務ガ附イテ居
ル、簡單ニソレダケノ言葉デ信託ノ意味ハ盡セルト考ヘテ居
マス、而シテ實際ニ鑑ミマシテモ、學會ノ會長ガ自分ノ名義
デ不動産ヲ登記シタ、然ルニ學會ノ財產ハ其實際ハ會長ノ
モノデハナイノデアリマス、其財產ヲ賣テ自分ノ爲ニ消費
シタラバ、明カニ犯罪ヲ構成スル、併ナガラ登記シテ居ル
以上ハ其財產ハ會長ノ名義デアル、而シテ其會長ハ事實ド
ウ云フ場合ニ其財產ヲ處分シテ宜イカト云フト、一切學會
ノ爲ニミ處分シナケレバナラス、而シテ相續ノ目的ニ依
ラナケレバナラス、實際ナイノデアリマスカラ、其受託者ヲ
第三者マデ保護シヤウト云フ、物權ノ負擔ガ付テ居ルト云
フ、所有權ノ方面カラ之ヲ論ジテ信託ノ觀念ヲ定メヤウ、寧
ロ代理ノ關係ノ方ノ、即チ他人ノ爲ニスルト云フ方ハ債務
ノ方面ニ於テ此案ヲ規定シテ居ノデアリマス、而シテ其債
務ガ何處ニアルカ否ナヤト云フコトハ、即チ信託ノ目的ニ

依テ定マル、代理關係ナルヤ否ヤ、其關係ハ是ハ經濟上デ見
レバ間接代理ノヤウナモノデアリマスガ、其關係ハ寧ロ目
的ニ違入ッテ、其意味カラ廣ク矢張一ツノ間接代理ミタヤウ
ナモノデアリマス、法ノ觀念ハ所有權「プラス、オブリゲー
ション」デアリマス

○委員長伯爵(兒玉秀雄君) ソレデハ今日ハ是デ終リト致
シマス

午後三時二十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 菅原 通敬君
委員

男爵長松 篤榮君
男爵横山 隆俊君
男爵藤村 義朗君
加太 邦憲君
橋本 圭三郎君
倉知 鐵吉君
小山 健藏君
室田 義文君
安田 善三郎君

政府委員

大藏省銀行局長 黒田 英雄君
大藏書記官 保倉 熊三郎君
司法次官 山内 確三郎君
司法省民事局長 池田 寅二郎君
司法省參事官 三宅 正太郎君